附

中島四郎訊問ノ概要（24/1，昭22　於巣鴨）

中島ハ上陸直後昭17年10月頃迄バンドン西部防衛隊勤務。次ニ予備士官学校（幹部候補生隊）マゲラン分教所ニ約一ケ月勤務シ後終戦時迄スマラン本校ニ勤務ス。

彼曰ク「スマラン軍慰安所ニ関係アル者ハ皆殺サルル様ナリ。」

又曰ク「婦人ノ数ノ不足セラレタル理由ハ主トシテアラズ日本側ハジャワニ於ケル和蘭人側ノ女ニ関スル謀略ニ陥リシナリ」

中島ノ主張ハ当時スマランニ於ケル四ツ所ノ軍慰安所ノ一ツハ将校倶楽部ノ衛生指導者タルニ過ギズ此ノ仕様ハ命令ニ依リ開設ノ日ヨリ実施セリ。　開設当日7人ノ将校ヨリナル会合アリ中島ノ記憶ニ依レバ岡田少佐、ダケイ大尉、石田大尉、福地、川村少佐、荷本中尉（和蘭側ヨリ指名ナシ）小椅（当時主計高橋少佐ハ既ニスマランニナシト中島ヲ強ヒテ小椅ハ主計ト同一人ニ非ズヤ）及ビ中島自身ノ7名ナリ。

又他日能崎少将ハ将校倶楽部ニテ会食ヲ催セリ。此ノ席ニハ大久保大佐モ見エタリ。

村上少佐ハ他ノ慰安所ノ一ナルスマランクラブノ衛生指導者タリ。

又中島ハ之等慰安婦ガ自由意志ニ依ラズ強制セラレタルトハ全然知ラズ　唯一度一人ノ女ガスマランクラブヨリ逃亡セントセシヲ聞イタノミナリ。

全計画ノ組織者ハ岡田ナリ。

但シ之ニ関シテハ他ノコトヲ聞キシノミ。

山下　斎藤　山下氏ハ軍医中尉。ジョクジャ部隊ニ勤務シ同部隊ノ慰安婦ガスマランニアル関係上度々スマランニ来レリ。

又能崎少将以外ノノザキナル者ハナシ。

— 終リ —

86

205